

平成24年度(社)福岡県建築士会地域貢献活動報告

■ 樋井川流域治水市民会議

代表者：角銅 久美子

団体所在地：〒814-0153 福岡市城南区樋井川5-34-2

☎092-561-8651

URL：http://sites.google.com/site/hihikawashiminkaigi/

設立年月日：平成21年9月

テーマ 雨水利用啓発活動

□ 活動の目的及びきっかけ

平成21年8月、福岡大学にて雨水ネットワーク会議全国大会が開かれ、その分科会にて雨水ハウスのワークショップを企画、実施した。同年7月に樋井川にて大水害が発生。これをきっかけに、行政だけに頼らない、地域住民も一緒に取り組む流域の市民会議を立ち上げた。参加者は行政、地域住民、大学、NPOからなる。一軒の住宅で貯められる雨水の量はわずかだが、これが流域全体に広がれば、立派な治水効果が生まれる。同時に災害時の生活用水としても活用できる。この活動に賛同し、福岡県建築士会福岡支部の青年委員会、まちづくり委員会、災害対策委員会が協力、参加することとなった。



樋井川代水害の被害の範囲



全国大会ワークショップ

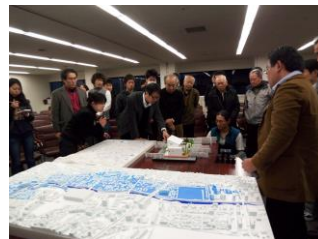
□ 主な活動内容

○ 雨水利用実験住宅プロジェクト

ワークショップ、デザインレビュー、を経て実験住宅を設計、実現。会員メンバーの中から施主とのヒアリングを経て設計者を選定。設計者を中心に設計を進める。総仕上げとなる庭作りワークショップも開催。施主は治水会議立ち上げメンバーの一人。



第2回ワークショップの様子



治水会議での発表



デザインレビュー



基本設計終了時の模型



基礎を兼ねたタンク施工中



棟上げの餅まき



建物完成



木材を多用した室内



駐車場地下の防災用タンク施工



ユニット式タンクを敷き詰める



庭作りワークショップ



完成したピオトープ

- 雨水ハウス経過の報告書作成と見学会開催
完成した雨水ハウスをいろんな方に知ってもらうために、幾度か見学会や勉強会を開催。また、報告書として成果をまとめる。



□ 成果と課題

最初のワークショップから3年かかって、やっと完成にこぎつけた。多くの人的協力のおかげと、本当に感謝の念で一杯である。今回は実験住宅ということもあり、特別仕様が多いが、今後普及に向けて汎用性に主眼を置く必要がある。わずかでもいいから自分のできる範囲での雨水利用が普通の事になるよう、まだまだやる事はたくさんある、と痛感している。